

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（表面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和2年6月4日			
鹿児島県知事 三反園 訓 殿			
報告者			
住 所 鹿児島県南九州市穎娃町上別府 6512			
氏 名 東建設 株式会社 代表取締役 東 眞 一			
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）			
電話番号 0993-39-1121			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和元年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	東建設 株式会社		
事業場の所在地	南九州市穎娃町上別府 6512		
事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業 小分類：一般土木建築工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	平成31年 4月1日 ～ 令和2年 3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	621.80 t	全処理委託量	621.80 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	621.80 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラコン、木くず、廃プラ、金属くず、軽カル、吸音ボード)

有償物量

不要物等発生量

② 自ら直接再生利用した量

排出量
① 869.559t

③ 自ら直接埋立処分した量

項目	実績値
① 排出量	869.559t
②+③ 自ら再生利用を行った量	t
⑤ 自ら熱回収を行った量	t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩ 全処理委託量	869.559t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	869.559t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

単位:トン

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量

⑫のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 869.559t

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬

⑦ 自ら中間処理により減量した量

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑩ 869.559t

⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭

⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画実施状況報告書内訳書 (廃棄物の種類が2つ以上ある場合この表を使用してください。)
数字 (t)

廃棄物の種類	ガラコン	木くず	廃プラ	金属くず	軽カル	吸音ボード	合計
① 排出量	801.59	65.13	0.42	1.459	0.86	0.1	869.559
② 自ら直接再生利用した量							0
③ 自ら直接埋立処分した量							0
④ 自ら中間処理した量							0
⑤ ④のうち熱回収を行った量(内訳)							0
⑥ 自ら中間処理した後の残さ量							0
⑦ ④-⑥自ら中間処理により減量した量							0
⑧ 自ら中間処理後再生利用した量							0
⑨ 自ら中間処理後、自ら埋立処分した量							0
⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	801.59	65.13	0.42	1.459	0.86	0.1	869.559
⑪ ⑩のうち、優良認定処理業者への処理委託量							0
⑫ ⑩のうち、再生利用者への処理委託量	801.59	65.13	0.42	1.459	0.86	0.1	869.559
⑬ ⑩のうち、熱回収認定処理業者への処理委託量							0
⑭ ⑩のうち、熱回収認定処理業者以外の熱回収を行う業者への委託量							0
参考1 ⑩のうち、焼却施設への処理委託量(⑩の内訳)		65.13					65.13
参考2 ⑩のうち、焼却以外の中間処理施設への処理委託量(⑩の内訳)	801.59		0.42	1.459	0.86	0.1	804.429
参考3 ⑩のうち、埋立処分業者への処理委託量(⑩の内訳)							0

※ガラコン・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(隆石音ボードもガラコンで記入してください)

※建設系の廃棄物で、品目ごとの仕分けが不可能な場合は、建設混合廃棄物として記入してください。

◆ 参考1～3は、どのような業者に委託されているかを聞くものです。(⑩処理業者への委託量=参考1+参考2+参考3)

◆ mは、トンに換算し記入してください (換算係数は、ホームページ中の「換算係数」を参考にしてください)

別紙 数字 (t)

項目	実施値
①排出量	869.559
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分を行った量	0
⑩全処理委託量	869.559
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生処理業者への処理委託量	869.559
⑬熱回収認定処理業者への処理委託量	0
熱回収認定処理業者以外の熱回収業者への処理委託量	0

自動計算 データーの場合
入力不要